

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 国際計測器株式会社
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

TEL 042-371-4211

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,403	△40.7	△256	—	△351	—	△243	—
21年3月期第3四半期	5,737	—	207	—	236	—	178	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△17.29	—
21年3月期第3四半期	12.54	12.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	10,244	5,477	53.3	389.37
21年3月期	11,201	5,906	52.6	414.99

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,457百万円 21年3月期 5,892百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	12.00	30.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△36.9	500	△50.9	350	△68.5	200	△73.4	14.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 14,200,000株 21年3月期 14,200,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 184,500株 21年3月期 900株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 14,065,530株 21年3月期第3四半期 14,199,116株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き世界的な金融・経済危機による景気停滞の中で、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、厳しい状態が続いております。

当社の主力取引先である中国・東南アジア地区の自動車・タイヤメーカーの設備投資は改善しつつあるものの、国内自動車関連メーカーの設備投資については燃料電池等環境に配慮した研究開発分野に集中している状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、従来からの主力製品であるバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機だけでなく、前連結会計年度より本格的に事業展開しているサーボモータ方式各種振動試験機や包装貨物用評価試験機についても積極的な営業活動を行なってまいりました。当該試験機に関する営業活動は、自動車関連メーカーに加え、鉄道・建築・食品・家電関連メーカー等の研究開発部門を対象を広げることで景気停滞による業績への影響を軽減すべく展開しておりますが、主力製品の受注減少の影響を吸収することはできませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、34億3百万円（前年同四半期比40.7%減）、営業損失は2億5千6百万円（前年同四半期は2億7百万円の利益）、経常損失は3億5千1百万円（前年同四半期は2億3千6百万円の利益）、四半期純損失は2億4千3百万円（前年同四半期は1億7千8百万円の利益）となりました。

売上高の減収要因につきましては、自動車関連業界の新規設備投資が抑制されていることから受注が減少しており、バランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機の売上が前年同四半期累計期間に比して大きく減少したこと、前連結会計年度において子会社である東伸工業株式会社の決算期変更（12月から3月に変更）を行ないましたが、第1四半期の時期（1～3月→4～6月）が3ヶ月ずれ込んだことにより、官公庁の年度末の1～3月に多くの納品、売上検収が集中する傾向がある同社の売上が減少したことが主たる要因であります。

利益面につきましては、引き続きコストダウンや子会社の人員削減、グループ全体の販売費及び一般管理費の削減等の努力をした結果、一定の成果を上げたものの、売上の大幅な減収による減益の影響を吸収できなかったこと及び急激な為替相場の変動により為替差損が発生したことが主たる要因であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、59億2千9百万円（前連結会計年度末比9億1千2百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が回収されたことにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比8億3千4百万円増）したことや、第4四半期連結会計期間に納品予定の仕掛品が増加（前連結会計年度末比2億6千6百万円増）したものの、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比21億7百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、43億1千4百万円（前連結会計年度末比4千4百万円減）となりました。これは、株価の上昇等により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比4千0百万円増）したものの、のれんの償却によりのれんが減少（前連結会計年度末比5千2百万円減）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、31億4千7百万円（前連結会計年度末比7億7千4百万円減）となりました。これは、借入金の返済により短期借入金が増加（前連結会計年度末比5億8千0百万円減）したことや、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比1億2千6百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、16億1千8百万円（前連結会計年度末比2億4千6百万円増）となりました。これは、長期の運転資金調達のため長期借入金が増加（前連結会計年度末比2億6千2百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、54億7千7百万円（前連結会計年度末比4億2千9百万円減）となりました。これは、四半期純損失を2億4千3百万円計上したことや期末配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比4億1千3百万円減）したことや自己株式の取得により自己株式が増加（前連結会計年度末比1億4千8百万円増）したことが主たる要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により12億5千7百万円増加し、投資活動により2億1千3百万円減少し、財務活動により5億8百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第3四半期連結累計期間に比べ7億6百万円増加し、16億4千8百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、12億5千7百万円の収入（前年同四半期比8億7千6百万円の収入増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失を3億9百万円計上したこと、第4四半期連結会計期間に納品が予定されているため、たな卸資産が2億4千9百万円増加したことや法人税等を1億8千0百万円支払ったものの、売上債権の回収により21億4千0百万円増加したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2億1千3百万円の支出超過（前年同四半期比7千3百万円の支出減少）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が3億5千3百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が4億8千7百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5億8百万円の支出超過（前年同四半期比5億6百万円の支出増加）となりました。これは、長期の運転資金調達のため長期借入れによる収入が7億0百万円あったものの、短期借入金及び長期借入金の返済による支出が8億7千8百万円あったこと、自己株式の取得による支出が1億4千8百万円あったことや期末配当を実施したことにより1億7千1百万円支払ったことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期は前年同四半期と比較して、売上高、利益ともに減少しておりますが、例年、第2四半期、第4四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成21年11月10日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,789,223	1,954,310
受取手形及び売掛金	1,208,427	3,315,896
有価証券	—	99,073
商品及び製品	173,992	206,486
仕掛品	958,556	691,804
原材料及び貯蔵品	404,003	383,174
繰延税金資産	229,247	115,135
その他	173,779	85,553
貸倒引当金	△7,933	△9,992
流動資産合計	5,929,296	6,841,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,587,779	1,579,308
機械装置及び運搬具	173,334	185,054
土地	1,672,699	1,669,151
その他	179,434	177,213
減価償却累計額	△1,005,453	△957,171
有形固定資産合計	2,607,794	2,653,556
無形固定資産		
のれん	194,047	246,969
その他	65,937	71,383
無形固定資産合計	259,985	318,352
投資その他の資産		
投資有価証券	112,672	72,487
長期貸付金	35,360	35,260
繰延税金資産	962	21,976
保険積立金	1,169,400	1,123,160
その他	180,663	208,677
貸倒引当金	△52,077	△73,911
投資その他の資産合計	1,446,981	1,387,649
固定資産合計	4,314,760	4,359,559
資産合計	10,244,057	11,201,001

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,034,524	1,196,576
短期借入金	1,087,000	1,667,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	480,920	341,420
未払法人税等	20,609	147,452
前受金	223,906	164,576
賞与引当金	24,977	81,302
製品保証引当金	116,136	123,447
その他	149,764	180,118
流動負債合計	3,147,838	3,921,894
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,158,680	896,345
繰延税金負債	86,271	76,772
退職給付引当金	160,983	171,322
役員退職慰労引当金	112,956	127,802
固定負債合計	1,618,890	1,372,242
負債合計	4,766,728	5,294,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	4,202,874	4,616,468
自己株式	△150,917	△2,044
株主資本合計	6,011,456	6,573,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,910	1,791
為替換算調整勘定	△577,094	△683,271
評価・換算差額等合計	△554,183	△681,479
少数株主持分	20,055	14,419
純資産合計	5,477,328	5,906,864
負債純資産合計	10,244,057	11,201,001

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,737,242	3,403,057
売上原価	3,848,411	2,237,694
売上総利益	1,888,831	1,165,362
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	90,083	133,403
貸倒引当金繰入額	8,172	—
役員報酬	153,540	86,420
給料手当及び賞与	396,756	360,434
賞与引当金繰入額	10,056	11,923
退職給付費用	△5,942	9,953
役員退職慰労引当金繰入額	6,000	6,467
運賃	154,924	84,905
減価償却費	31,186	26,536
研究開発費	30,252	93,266
その他	806,094	609,045
販売費及び一般管理費合計	1,681,124	1,422,355
営業利益又は営業損失(△)	207,706	△256,993
営業外収益		
受取利息及び配当金	44,969	34,187
保険解約返戻金	51,097	9,281
その他	16,840	16,094
営業外収益合計	112,907	59,563
営業外費用		
支払利息	37,588	29,821
持分法による投資損失	3,185	3,013
売上債権売却損	2,175	11,181
支払手数料	21,062	14,430
為替差損	8,701	74,743
保険解約損	—	18,231
その他	11,445	2,823
営業外費用合計	84,159	154,244
経常利益又は経常損失(△)	236,454	△351,674
特別利益		
貸倒引当戻入額	—	25,760
賞与引当戻入額	—	17,001
特別利益合計	—	42,761
特別損失		
固定資産除却損	239	441
固定資産売却損	295	384
ゴルフ会員権評価損	4,900	—
特別損失合計	5,435	826
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	231,019	△309,739
法人税、住民税及び事業税	149,508	10,866
過年度法人税等	—	14,564
法人税等調整額	△100,097	△97,540
法人税等合計	49,411	△72,109
少数株主利益	3,574	5,574
四半期純利益又は四半期純損失(△)	178,033	△243,205

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	231,019	△309,739
減価償却費	78,856	67,990
のれん償却額	52,922	52,922
持分法による投資損益(△は益)	3,185	3,013
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,134	△25,538
賞与引当金の増減額(△は減少)	△75,182	△56,643
製品保証引当金の増減額(△は減少)	34,786	△7,341
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36,239	△10,989
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,000	△14,846
受取利息及び受取配当金	△44,969	△34,187
支払利息	37,588	29,821
保険返戻金	△51,097	△9,281
為替差損益(△は益)	9,305	24,499
売上債権の増減額(△は増加)	1,606,867	2,140,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	△868,230	△249,952
仕入債務の増減額(△は減少)	△296,162	△168,877
前受金の増減額(△は減少)	153,910	57,865
その他	△21,645	△53,589
小計	829,050	1,435,726
利息及び配当金の受取額	39,987	27,862
利息の支払額	△33,714	△35,229
保険金の受取額	51,097	9,281
法人税等の支払額	△505,859	△180,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,561	1,257,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△474,372	△487,632
定期預金の払戻による収入	369,705	353,725
有形固定資産の取得による支出	△47,606	△7,731
無形固定資産の取得による支出	△14,011	—
保険積立金の積立による支出	△150,190	△148,857
保険積立金の解約による収入	—	84,385
その他	29,769	△7,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286,706	△213,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	△580,000
長期借入れによる収入	1,000,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△214,793	△298,165
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△65	△148,873
配当金の支払額	△626,418	△171,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,276	△508,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,327	△21,256
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,250	514,882
現金及び現金同等物の期首残高	915,900	1,133,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	941,151	1,648,059

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<p>退職給付費用</p> <p>退職給付費用がマイナスとなっている主たる要因は平成20年6月1日より適格退職年金制度から確定給付企業年金制度(規約型)への移行に伴うものです。</p>	<p>—</p>

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社及び連結子会社の事業は、計測器の製造、販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	韓国 (千円)	中国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,914,319	396,791	315,044	98,254	12,831	5,737,242	—	5,737,242
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	430,508	41,018	481,835	109,104	37,142	1,099,610	(1,099,610)	—
計	5,344,828	437,810	796,880	207,359	49,974	6,836,852	(1,099,610)	5,737,242
営業利益又は 営業損失(△)	280,525	△74,272	135,178	△61,329	11,455	291,557	(83,850)	207,706

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が2,000千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	韓国 (千円)	中国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,764,374	277,780	207,755	137,601	15,546	3,403,057	—	3,403,057
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	191,946	4,686	123,196	59,601	38,712	418,144	(418,144)	—
計	2,956,321	282,466	330,951	197,203	54,259	3,821,201	(418,144)	3,403,057
営業利益又は 営業損失(△)	△198,858	△6,277	12,827	△15,861	15,209	△192,960	(64,032)	△256,993

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	米州	中国	アジア (中国を除く)	その他	計
I 海外売上高（千円）	430,633	1,283,284	1,058,096	89,680	2,861,695
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,737,242
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.5	22.4	18.4	1.6	49.9

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 各区分に属する主な国又は地域

①米州・・・・・・・・・・米国、メキシコ、ブラジル

②アジア（中国を除く）・・・韓国、タイ、インドネシア、インド、フィリピン

③その他・・・・・・・・・・ポーランド

(注3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	米州	中国	アジア (中国を除く)	その他	計
I 海外売上高（千円）	259,368	789,194	984,808	24,867	2,058,238
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	3,403,057
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.6	23.2	28.9	0.7	60.5

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 各区分に属する主な国又は地域

①米州・・・・・・・・・・米国、ブラジル

②アジア（中国を除く）・・・韓国、タイ、インドネシア、インド

③その他・・・・・・・・・・トルコ

(注3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社は、平成21年5月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、第1四半期連結会計期間において自己株式を183,600株取得しております。この結果、第1四半期連結会計期間において自己株式が148,873千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は150,917千円となっております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	生産高(千円)	構成比(%)	生産高(千円)	構成比(%)	生産高(千円)	構成比(%)
バランスिंगマシン	4,648,704	67.3	2,489,176	65.0	5,590,208	58.7
シャフト歪自動矯正機	632,553	9.2	209,304	5.5	731,969	7.7
その他	1,622,290	23.5	1,128,269	29.5	3,203,908	33.6
合 計	6,903,547	100.0	3,826,749	100.0	9,526,085	100.0

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

①受注高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)
バランスिंगマシン	3,956,951	64.6	3,140,121	60.8	3,853,821	54.4
シャフト歪自動矯正機	447,591	7.3	327,541	6.3	458,024	6.5
その他	1,724,782	28.1	1,696,085	32.9	2,773,450	39.1
合 計	6,129,325	100.0	5,163,748	100.0	7,085,296	100.0

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注残高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	受注残高(千円)	構成比(%)	受注残高(千円)	構成比(%)	受注残高(千円)	構成比(%)
バランスिंगマシン	4,321,725	72.8	3,087,014	67.9	2,254,986	75.6
シャフト歪自動矯正機	307,188	5.2	327,619	7.2	174,820	5.9
その他	1,308,853	22.0	1,132,574	24.9	551,588	18.5
合 計	5,937,766	100.0	4,547,208	100.0	2,981,396	100.0

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
バランスिंगマシン	3,613,286	63.0	2,160,334	63.5	5,556,088	58.4
シャフト歪自動矯正機	587,699	10.2	132,222	3.9	728,756	7.7
その他	1,536,256	26.8	1,110,500	32.6	3,219,184	33.9
合 計	5,737,242	100.0	3,403,057	100.0	9,504,029	100.0

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。